鹿児島県立鹿児島中央高等学校　～自主 好学 敬愛～

進路指導室だより ２月号

発行：進路指導部企画運営係〈令和8年2月27日〉

最後まで粘り強く

国公立大学一般選抜入試の前期日程が終わり，３月８日からは中期日程，３月 12 日からは後期日程が実施されます。例年，後期試験の欠席率は高く，令和６年度 63.7％（国立 63.5％・公立 64.3％），令和５年度 63.2％（国立 62.7％・公立 64.8％），令和４年度 62.9％（国立 62.6％・公立 63.8％）という結果でした。欠席率が高い主な理由として，「前期日程で合格した受験生は受けない」「すでに私立大学への進学を決めた」「総合型選抜・学校推薦型選抜での合格が決まった」などが考えられています。つまり欠席者が多いため，見た目の倍率ほど実は厳しくなく，最後まで諦めず，粘り強く取り組み，受験した人が，合格を勝ち取ることになります。後期日程を出願した 61 期生のみなさん，最後まで自分を信じて挑戦し続けてください。

（参考）令和6年度国公立大学一般選抜入試後期日程受験状況

九州地区

大学名	対象者	出席者	欠席者	欠席率	前年度欠席率
九州大学	2,301	944	1,357	59	56.7
九州工業大学	1,151	464	687	59.7	60.1
福岡教育大学	956	264	692	72.4	68.6
佐賀大学	2,392	824	1,568	65.6	63.3
長崎大学	1,227	427	800	65.2	67.7
熊本大学	1,135	409	726	64	63.1
大分大学	1,755	519	1,236	70.4	71.3
宮崎大学	2,705	764	1,941	71.8	67.7
鹿児島大学	2,197	717	1,480	67.4	65.9
琉球大学	1,599	541	1,058	66.2	68.4
北九州市立大学	1,430	478	952	66.6	65.7
福岡県立大学	569	174	395	69.4	70.6
福岡女子大学	417	147	270	64.7	66.3
長崎県立大学	2,144	618	1,526	71.2	70.7
熊本県立大学	960	413	547	57	61.9
大分県立看護科学大学	105	26	79	75.2	66.9
宮崎県立看護大学	158	34	124	78.5	69.5
宮崎公立大学	555	191	364	65.6	85.1
沖縄県立看護大学	88	30	58	65.9	41.9
沖縄県立芸術大学	22	17	5	22.7	50
名桜大学	225	134	91	40.4	42.5

来年度以降の受験を見据えて

難関国公立・私立大学に多くの合格者を輩出している進学校では，この１～３月を「３年０学期」」と位置づけ，受験に向けた取組を始めています。鹿児島中央高校でも３月 18 日に，本校 25 期生であり，大手予備校「代々木ゼミナール」で大活躍されている西川彰一先生を講師にお迎えして，進路講演会を行います。１・２年生のみなさんは，先輩である西川先生から大学受験に関する最新情報や高い進路目標設定の必要性を吸収してほしいと思います。また，ある大手予備校の調査によると難関大学現役合格者の 71.6％が「高校２年生の３月までに受験勉強を開始した」と回答したそうです。２年（62 期）生のみならず１年（63 期）生のみなさんも，ぜひ，この３月から受験を強く意識した学習に取り組み，自分の新たな可能性を広げてください。

今年度の総復習をしよう

３月の高校入試に伴う自宅学習期間に，今年度の総復習をしてみませんか。この復習に徹底的に取り組むことで，来年度の大いなる飛躍に繋がると考えています。特に，力を入れてほしいのは「定期考査・実力考査」「全国模試」の復習です。「全国模試」は，受験時における自分の全国での位置や学力，そして得意・苦手の単元を確認できます。しかし，全国での位置や学力だけを強く意識してしまうと，大学受験本番では，上手くいかないことが多いです。それは，苦手分野を残してしまうことになるからです。そこで大切なのは，「どの単元ができなかったのか」と自己分析をきちんと行い，次の全国模試に繋げていくことです。大学入試の本番を意識した問題は，高３模試からです。それまでは，全国実力考査だと思って，間違った問題・解けなかった問題を徹底的に復習して，力を蓄えていくことが大切となってきます。また，「定期考査・実力考査」も同様です。問題を解き直すことで，自分の苦手分野がはっきりします。基礎が固まっていない時に，入試問題のような応用問題に取り組んでも良い成績を収めることはできません。大学入学共通テストで目標点を上回るためにも，教科書から出題している「定期考査・実力考査」も見直し，苦手分野の解消を図ってみてください。

令和９年度入試の変更点

今年度の国公立大学入試では，多くの変更点がありました。「進路室だより」の６月号や７月号でも，鹿児島大学や熊本大学を取り上げました。２年（62 期）生のみなさんは，いよいよ来年度入試に向けて本格的に取り組まなければならない時期です。志望する大学のウェブサイトで，「変更点がないか」を必ず確認しください。

【令和９年度入試で変更点がある主な大学・学部】

① 鹿児島大学（工・法文・教育・医・農・共同獣医）

② 九州大学（工・理）

③ 熊本大学（医・薬）

VUCA 時代により求められる認知能力，非認知能力，メタ認知能力

３学年主任

表題の３つの能力は VUCA 時代（物事の不確実性が高く，将来の予測が困難な時代）を生きる皆さんにとってより求められる能力だと思うので、ここに記しておきたいと思います。

Ｉつめは認知能力です。これは知識を理解し、考え、判断し、問題を解決する力です。皆さんはこの３年間、思考力・読解力・分析力を鍛えてきました。AI は膨大な知識を瞬時に処理できますが、「何が重要か」「なぜそう考えるのか」を文脈の中で判断する力は、依然として人間の役割です。学ぶことをやめず、問いを持ち続ける姿勢こそが、VUCA 時代の認知能力を磨き続けます。

２つめは非認知能力です。これは数値では測りにくい力、例えば、粘り強さ、主体性、協働する力、他者への共感、失敗から立ち上がる力です。皆さんが部活動や行事、友人関係の中で経験してきた葛藤や挑戦は、すべてこの力を育ててきました。AI には感情がありません。だからこそ、人と信頼関係を築き、違いを受け入れ、チームで価値を生み出す力は、これからますます重要になります。

３つめはメタ認知能力です。これは「自分を客観的に見る力」です。自分は今、何を理解していて、何が分かっていないのか。どんな考え方の癖があり、どこを改善すべきか。VUCA 時代を生きるためにも、この力は欠かせません。AI に答えを求める前に、「この問いは適切か」「その答えをどう使うか」を判断するのは、皆さん自身です。自分の思考や感情を振り返り、学び方そのものを調整できる人が、変化の激しい時代をしなやかに生き抜きます。

認知能力、非認知能力、メタ認知能力は、どれかＩつだけでは意味を持ちません。３つが結びついたとき、人は AI を道具として使いながら、自分にしかできない価値を社会に提供できます。

これから先、迷うことも、失敗することもあるでしょう。しかしそれは、成長している証です。自分で考え、人と関わり、自分を振り返りながら、一歩ずつ前に進んでください。皆さん一人ひとりが、VUCA 時代を生きる「学び続ける人間」であることを、心から期待しています。

さて、上の文章はほぼほぼ AI に書いてもらいました。AI だけでなく、グローバル化、技術革新等によって、この瞬間にも世界は我々が思っている以上のスピードで変化し続けています。VUCA 時代を生きるのは大変ですが、同時にわくわくし，楽しい時代でもあると思います。気負う必要はありませんが、健康に気を付け、人を大切にし、社会に貢献できる人になってください。卒業おめでとうございます。